

【3.社会教育の振興について】

次に社会教育の振興について伺います。

わが国では、人生100年時代やグローバル化、人口減少など社会構造が急速に変化し、その変化は教育を取り巻く環境にも大きく影響を与えており、こうした社会の変化に対応するために、生涯にわたり学び続けることができる、生涯学習社会の実現はより一層求められると考えます。

生涯学習社会の実現に向けては、人口減少時代の地域が直面する様々な困難の中で、住民が主体的に課題を発見し、解決していくという社会教育の役割が重要であり、社会教育が担う『人づくり』や『つながりづくり』は、それ自体が一人一人にとって大きな意義を有するものであるとともに、持続可能な地域づくりに繋がっていく意義を持つものであります。

しかし、これまで生涯学習が推進される中で、個人の求めに応じて学習の機会の提供を行うことが中心となり、公民館等の社会教育施設や社会教育主事等が担ってきた、社会の要請による地域課題の解決につながる社会教育の振興が進んでいないのではないか、個の学びの陰に、社会教育が隠れてしまったのではないか、その結果として、社会教育行政・社会教育活動の停滞・衰退を加速させたのではないかと感じています。

そこで、道教委では社会教育の振興についてどのように考えているのか、また、今後どのように取組んでいくのか、教育長の考えを伺います。

(答弁：教育長（生涯学習推進局生涯学習課）)

- ・近年の社会教育施設は、個の学習需要に応じてきたところであるが、人口構造の変化に伴い、まちおこし、産業おこしなど、社会教育が草創期に担っていた役割への期待も高まってきているものと認識。
- ・年々、生徒たちが大人たちと一緒に、ビジネスの手法を用いて地域課題を解決する『探究的な学び』の機会が広がっており、国も社会教育主事等によるコーディネート機能を重視した、施策の展開を図っている。
- ・道教委としては、こうした潮流に呼応し、人づくり、地域づくりを担う『社会教育士』を育成するなど、地域と学校との連携・協働活動の推進体制を整備し、社会教育が『学び』と『まち・ひと・しごと』とのつながりづくりに貢献できるよう、取り組んで参る。